「緑と太陽の広場」で論議

陸別町議会

陸別町議会の才二回臨時会は十九日午前十時すぎにひらき（欠席は矢鋪議員）会期を一日としてただちに議案は入り、道路の冬期交通確保および整備のためモーターグレーダーを一千四十三万円で十勝小松販売株式会社から購入することを決定、公営住宅用地として新町の江下康雄氏の所有地八一三八平方㍍を八百六十一万八千二百十六円で買収を決定しました。

つづいて公営住宅建設工事の請負契約締結について池尻議員から小島建設が二棟八戸、高倉組が一棟四戸を落札したのを、できればこんご一棟づつにわけて入札して多くの業者に請け負わせてはどうかーとの意見に対して、杉田町長はこんご検討すると答弁してこれを議決しました。

ついで一般会計予算補正を提案して、このなかで、日本損害保険協会から時価七百五十万円の消防ポンプ車が寄贈されることになったので、この披露式や関係者への記念品に二十二万八千円を計上、緑と太陽の広場造成工事に二千六百四十七万五千円を計上しましたが、これが論議となりました。

これは道の振興補助金一千三百万円と町債一千万円を得て、町立国保診療所から旧陸小体育館までの空地三、七一四平方㍍を公園とし、道路をへだてて旧職員住宅空地二、一七二平方㍍をお祭り広場にしようとするもので

西野一郎氏　非常にスカッとした計画で、名称は公募したのか、設計はどこか

大橋企画課長　町は緑と太陽と高原のふるさとなのでこうした、設計は総務課企画課、教育委員会などが協議して施設課がまとめた

池尻英治氏　水の必要性がある、噴水施設は考えられないか、雨ふりの場合の施設はどうか、便所は乱雑になるが、維持管理をどうするか

大橋課長　噴水の案も出たが今回はカットした、寒さのため凍結のおそれがある、雨宿りについては軽スポーツなど天気のよいときとなる、便所は町民の徳義心にまつが、定期的に清掃する

池尻氏　噴水は難しいがやるべきでないか、軽スポーツはなにをやるのか

西野氏　噴水は庭園にあるべきで価値が違う、冬は脱水して管理できる

杉田町長　噴水は不可欠で望ましいが、冬期のことと軽スポーツのためにカットした、完成したうえで将来考えたい

池尻氏　噴水は五月から十月までの半年である、お祭り広場を舗装にすると盆踊りなどはやりずらいのではないか

西野氏　議会は理事者案を呑む機関ではない、噴水はあとで悔いを残す、舗装の上のスポーツはどうか

杉田町長　噴水をもるべきだと頭に画いたが冬期間の保守、点検が難しい、軽スポーツはトレーニングやキャッチボール程度で、舗装は駐車場の要素も求められている

松台国雄氏　提案に反対するわけでないが、緑と太陽だけでは用は足りない　これがキッカケで新町や緑町など地域毎につくるなかに噴水を考えるか

杉田町長　現時点ではカットした、将来は検討したい

松台氏　将来掘り返さねばならない、いまやるか、才二の公園でやるか、二つとなる、陸別は不適地ではない

杉田町長　中心地区で公共施設も多いので設けるが他の地域に大きなものは難しい

ここで昼食のため休憩となり、議員間の話し合いで噴水について竹内議長から杉田町長に再考を求めたうえで再開

杉田議長　池尻、西野、松台議員からご意見を頂き将来の検討を訂正し、実施設計の段階で町民の声をみたすためにもりたい、規模の問題、配管の問題もあり果してできるか、基本はつくる考えで再検討する

西野氏　公園の芝生はどうするのか

加藤施設課長　芝のランクづけは大きな面積なので強く丈夫なものを考え、ゴルフ場のようにする

などの論議があって予算補正を原案どおりに議決したあと、議会諸般報告、町長行政報告があって午後三時近くに閉会しました。

池北線合理化　絶対反対に乱れ

愛冠、上利別、大誉地など池北線三駅の合理化問題反対の打合せ会は十九日午後、足寄町役場会議室に三地区代表など二十名があつまってひらき、席上、大誉地代表からこれ以上絶対反対をつづけることは難しいとの地域情勢の報告があって、これを中心に協議した結果、いまただちに釧鉄局と条件交渉に入るのは時期尚早だとして自重することになりました。

大誉地地区としては、これまでの反対運動によってそれ相当の成果をあげており、これ以上反対をつづけてもより有利な条件は得られそうもないので、最終的に釧鉄局が示した営業近代化の措置事項を永続的に確実に実行するように文書協定をとりかわしたいとしていますが、これまで結束を固めて絶対反対をつづけてきた一角がくずれて乱れをみせたことになります。

足寄町議会

才六回臨時会は十九日午前十時にひらき（欠席は阿部、矢野、大浦議員）中央児童館新築工事を二千九十八万円で木村建設と、林道塩幌の沢線開設工事を二千九百九十万円で大川建設と平和～稲牛線藤見橋架換工事上部工を五千七百八十五万円で日本高圧コンクリートと（下部工は一千三百四十万円で河向組）それぞれ請負契約を議決、市街地連絡歩道橋新設工事費六千百万円追加の補正予算などを議決して、二十一分で閉会しました。

工事落札　陸別

七月に入って陸別町の工事落札はつぎのとおり。

▲下陸別橋架換下部工　一、六八〇万円石橋建設
▲同　上部工　一、七〇〇万円　日本高圧コンクリ
▲共和二地区農道　一、六四〇万円　木下組
▲東斗満地区農道　九四五万円　渡辺組
▲上陸別農業施設災害復旧　一、五〇五万円石橋建設
▲小利別同　九七四万円　木下組
▲共栄二号線排水整備　三三八万円　松浦建設
▲共栄四号線同　二六七万円　陸立興業
▲陸別～薫別線改良　二、一六〇万円石橋建設
▲公営住宅才一号　一、五九九万円　高倉組
▲同　才二号　三、一五四万円小島建設
▲簡易水道沈澱池新設　四三九万円　佐藤建設
▲同　設備工事　八九八万円　水道機工

告知板

★足寄地区労では二十六日午後六時三十分から働くものの憩いの家で本年度の定期大会をひらきます。

★足寄町農協では二十七日午前十一時から川向の現地での麦乾燥貯留調整工場と政府指定倉庫の新築落成式は延期となりました。

★足寄電報電話局では二十八日午後二時を期して市外局番は〇一五六二と変り、新たに市内局番が設けられて、従来の電話番号の上に足寄は五、大誉地は八の局番がつくことになります

★足寄駅通りの新津信子さん（熊の子食堂）が足寄町を相手に土地明け渡し請求の裁判をおこして、結果は和解となって問題の土地を町が買収することになって解決しましたが、新津さんが欲得で町にたていついたかのように誤解されている向があるとしてー新津さんの真意は、電源開発工事いらい町が無断で使用してきた芽登の私有地については、すでに道路になっているので、これを町に寄付するから地つづきの河川敷地を借りれるようにあっせんしてほしいと十数年来お願いしていたのに実現せず、町の方では道路用地はほかにあるというし、河川敷地について土木現業所から町の課長といっしょにきてほしいというのにいってくれないので止むを得ず土地明け渡しを請求したのだそうで、私の方からことをおこしたわけではなく、金銭解決も多い少ないでなく裁判所で決まったことでありますが、町が住民に対してもっと親味になってくれれば裁判にもならず余計な町費もかからなかったーといっています

祝
とかち新聞創刊
満二十週年記念

阿寒線鉄道敷設促進期成会
会長　中川一郎

白糠線鉄道敷設促進期成会
会長　足寄町長　小林弘道

池北三町消防事務組合
管理者　小林弘道
副管理者　水元孝夫
同　杉田稔
同　富田秋雄
収入役　鷲岡憲雄
消防長　播省三
議会議長　大滝弥助
同副議長　天野晴清

池北三町浄化センター組合
組合長　小林弘道
助役　富田秋雄
収入役　鷲岡憲雄
議会議長　竹内千代蔵
同副議長　方川新一

足寄郵便局
局長　石森勇
局長代理　友定聡
主事　江畠余次
同　野津仁司
主任　樋口昭之
同　山本義勝
同　安井勝臣
ーほか職員一同ー

カメラ　八ミリ　写真材料
上野カメラ堂
上野興復
足寄町駅通り　T　二五一二

新畳　表替　中古畳　フスマ張替
二段ベッド
敷物一式
マットレス
小林畳店
小林幸三郎
足寄町大通り山口整骨院前　T　二四二八

霊きゅう車　葬儀仏具一式　花輪　生花
㊁自動車
新津はなや
足寄町西三区　T　二六二六

赤外線焼付塗装ブース導入！
エナメル焼付塗装　オールUSA塗料使用
札幌陸運局認証　整備　板金　塗装
ムトウ自動車工業
足寄町　T　二五七八　三七一九

家具と建材
信用は最大のサービス
技術と納期を誇る！
家具　建具　製造販売
住宅内装に新建材を！
佐藤家具建材店
足寄駅前　電話二二三一番

西独スチールチエンソー全機種
震動防止（三G以下）認可記念景品付特売実施
防震付刈払機各メーカー品
景品付特売中
日立　マキタ　東和　電動工具
機械の修理は誠実本位の当店へ！
造林用具
諸機械商
鈴木鋸刃物店
足寄町大通り　T　二三〇七